



絵を見て、まちがいを10カ所見つけてね。  
正解者のうち、抽選で5人に図書カードをプレゼントします。



応募方法

はがきまたはファクスに①答え(どちらかの絵に○をつける)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥広報紙の感想、意見などを書いて秘書広報課(〒443-8601 FAX 66-1192)へ。当選者と答えは、広報がまごおり6月号に掲載します。

締切 4月14日金

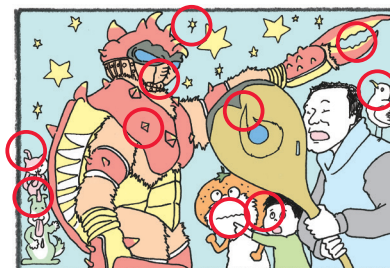
2月号当選者

石川 貴裕(形原町)  
斉藤あいり(中央本町)  
マクドナル佳代(金平町)  
山本のぶ子(竹谷町)  
脇山 紗奈(西浦町)  
(50音順・敬称略)



画:とうふねこ座  
市川雅子

2月号の答え



ととさん阿波の十郎兵衛、  
かかさのお弓と申します。

三谷町西区の氏神様を祀る「神明神社」の春の祭礼的一幕。西区の祭礼では、神楽(獅子舞)が女役を演じ、歌舞伎芝居を興ずる。この演目は「徳島十郎兵衛の段」。

物語は、主君の名刀が盗まれたことから始まる。刀の探索を命じられた十郎兵衛は、妻と共に盗賊になる。そこに両親を探す娘が西国巡礼をしながら妻のもとを訪ねてくる。この娘は2人の子どもであった。妻は親子であることが分かった盗賊の罪が娘に及ぶと恐れ、娘には我が子であるとは告げずに送り返す。これはその涙を抑えながら娘を見送る母と子の別れのシーン。

ちなみにイラストのモデルは先祖代々神楽を演じる4代目。子役も歌い手も親族の神楽一家。

西区に伝わるのはお祭りの伝統とお祭りに対する熱い思い。桜ほころぶこの季節。子役の台詞と獅子舞がよくにあふ。